

2020年に向けた関係機関等の取組の動向

1 組織委員会

- ・アクション&レガシープラン2016の策定
→詳細は別紙1参照

2 国

- ・2020年以降を見据えた文化プログラムの推進について
→詳細は別紙2参照



▲▶
区内の文化
イベント



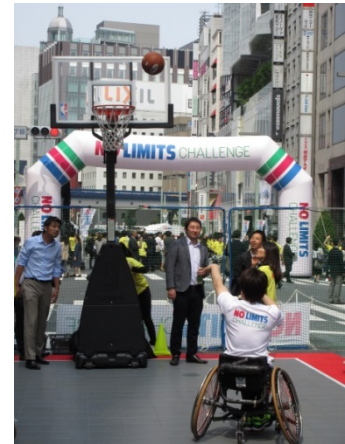
3 東京都

- ・NO LIMITS SPECIAL GINZA&TOKYO
→詳細は別紙3参照
- ・フラッグツアー

都と組織委員会は、リオデジャネイロ2016大会から引き継いだオリンピック旗・パラリンピック旗を都内区市町村から全国へ巡回させ、各地でイベント等を実施する気運醸成の取組を検討している。

4 その他（民間イベント等）

- スポーツアカデミー for Tokyo 2020
→詳細は別紙4参照
- ジャパンウォーク in TOKYO
→詳細は別紙5参照
- 日本橋伝統文化フェスティバル（仮称）
〈時期〉平成28年9月下旬～10月上旬
〈概要〉日本橋で伝統文化・芸能の魅力を発信し、誰もが気軽に親しめるフェスティバルを予定
〈主催〉アーツカウンシル東京、日本橋文化交流フェスティバル実行委員会及び都
- 日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020（仮称）
〈時期〉平成28年9月下旬～10月上旬
〈概要〉昨年に引き続き、中央通りをメインに東京2020大会エンブレムやリオ日本代表の肖像を用いた大規模な装飾など、大会の気運醸成に向けた取組を予定
〈主催〉三井不動産株式会社



▲NO LIMITS SPECIAL GINZA
&TOKYO



▲スポーツアカデミー
for Tokyo 2020

I. アクション&レガシープラン2016の策定について

1. 全体概要

Tokyo 2020 Vision

スポーツには、世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を

3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

(1) 基本的な考え方（アクション&レガシープラン）

▽ 『オリンピック・パラリンピックは参加することに意義がある』とあるように、できるだけ多くの方々、自治体や団体に参画していただく【アクション】。

▽ 大会ビジョンで「スポーツには世界と未来を変える力がある」を掲げ、その力で、東京2020大会をきっかけにポジティブな影響を残し、聖火リレーのように、次代を担う若者や子供たちに継承していく【レガシー】。

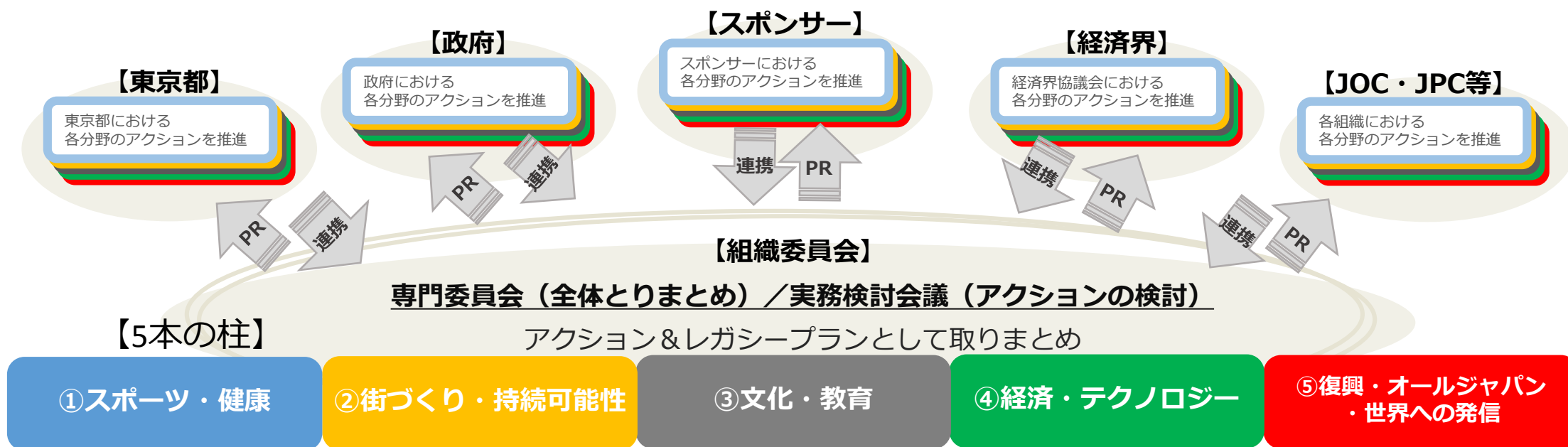


▽ 『アクション&レガシープラン』は、一人でも多くの方が参画【アクション】し、大会をきっかけにした成果を未来に継承する【レガシー】ためのプラン。

1. 全体概要

(2) オールジャパンでの取組

- ▽ 東京都、政府、経済界、JOC・JPC等の関係団体と連携を図り、オールジャパン体制で検討。
- ▽ ①「スポーツ・健康」②「街づくり・持続可能性」③「文化・教育」④「経済・テクノロジー」⑤「復興・オールジャパン・世界への発信」の5本の柱で検討。⇒「アクション&レガシープラン2016」を策定。



2. プランの構成及び策定に向けた重要な視点

(1) アクション&レガシープラン2016の構成

	概要
第一章：はじめに	アクション&レガシープランの全体像
第二章：スポーツ・健康	各章の基本的な構成 ・基本的な考え方（〇〇〇〇とオリンピック・パラリンピック） ・現状と課題：今何が課題となっているか ・レガシー：2020年以降を見据え、何を後世に残すべきか ・アクション：2020年を目指し、今何を行うべきか（主な例）
第三章：街づくり・持続可能性	
第四章：文化・教育	
第五章：経済・テクノロジー	
第六章：復興・オールジャパン・世界への発信	
付表①：アクション一覧	政府、東京都、被災3県、JOC、JPC、経済界、組織委員会等のアクション一覧を記載
付表②：2016年度下半期アクション一覧	政府、都道府県、関係自治体、JOC、JPC、スポンサー、経済界等の2016年度下半期アクションを記載

2. プランの構成及び策定に向けた重要な視点

(2) アクション&レガシープラン2016の策定に向けた重要な視点

①『参画』

- 各ステークホルダーのアクション（イベント・事業等）に対して「認証」する仕組みをリオ大会前までに構築する。
- 多くのアクションが全国で実施され、できるだけ多くの方々、自治体や団体に主体的に参画していただき、盛り上げを図る。

②『パラリンピック』

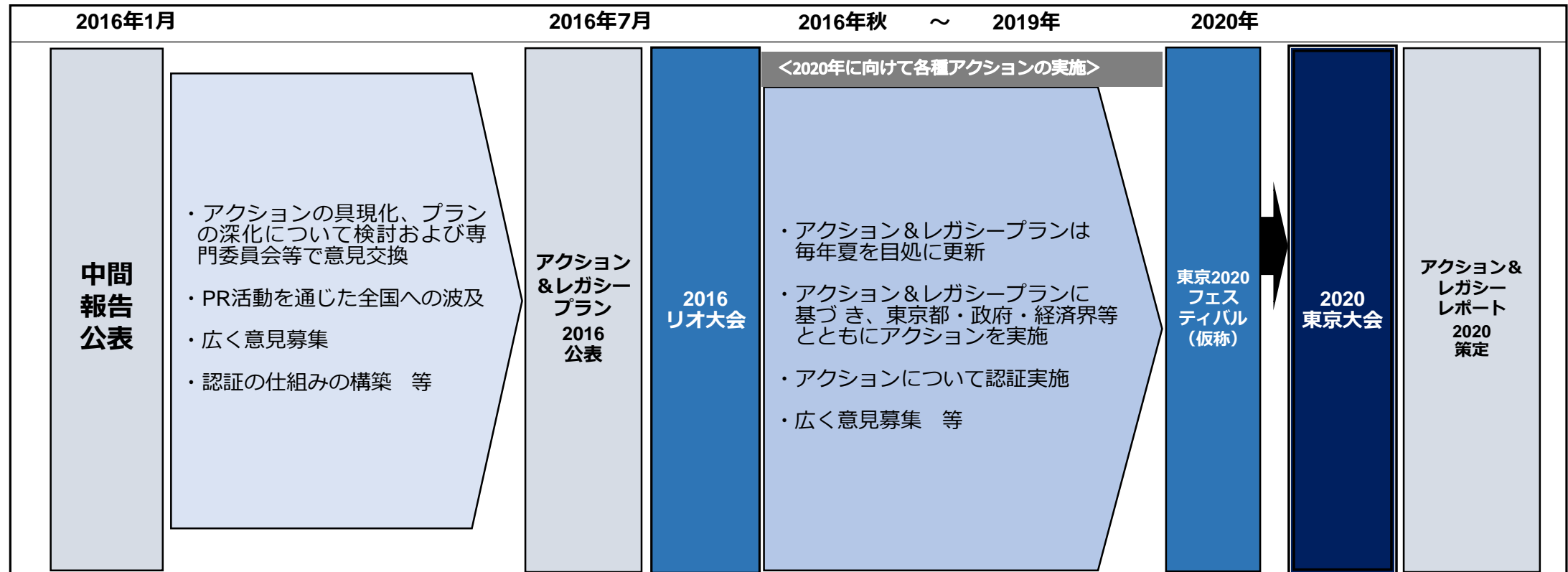
- パラリンピックは、世界最高峰の国際障がい者スポーツ大会であり、人間のもつ能力の可能性に気づく機会でもある。
- 東京2020大会は、同一都市で2回目のオリンピック・パラリンピックを同時に開催する初めての大会。大会そのものの成功はもちろんのこと、障がい者の社会参加の促進や多様性への理解の推進などを図る。

③『2018～2022年の間の大規模大会との連携』

- 東京2020大会を単なる一過性のイベントとするのではなく、東京、オールジャパン、そしてアジア・世界にポジティブな影響を与え、レガシーとして創出されることを企図している。
- オリンピック・パラリンピック大会（2018年 平昌（韓国）・2020年 東京（日本）・2022年 北京（中国））、日本でのラグビーワールドカップ2019（2019年）、関西ワールドマスタースゲームズ2021（2021年）といった世界的な大規模スポーツ大会との連携を図る。

3. 2020年に向けたスケジュール

- 今後、アクション&レガシープランは毎年夏を目処に更新。過去約1年間のアクションの実績と、当該年度に実施される見込のアクションを掲載
- 東京2020大会終了時点で、ファイナルレポートとして、「アクション&レガシーレポート2020」を策定



2020 年以降を見据えた文化プログラムの推進について

平成 28 年 3 月 2 日
内閣官房オリパラ事務局
内閣官房知的財産戦略推進事務局
文 化 庁
東京都生活文化局

1. 文化プログラムの意義

2020 年は、文化プログラムを通じて日本の魅力を発信する絶好の機会である。この機会に、2020 年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出すことが求められており、こうしたレガシー創出に資する文化プログラムを「beyond 2020 プログラム」として認定し、日本全国に展開する。

2. 「beyond 2020 プログラム」の推進体制

「beyond 2020 プログラム」の推進にあたっては、国と東京都が一体となって展開することで、日本全国で盛り上げを図ることが重要である。

3. ロゴマークの作成及び事業の認定

オールジャパンで統一感をもって「beyond 2020 プログラム」を推進するためにはロゴマークが必要であることから、国と都が連携し、関連事業に付与する「beyond 2020 マーク」を国が早急に作成する。事業の認定は、関係行政機関が行う。

4. 「CULTURE & TOKYO」ロゴとの連携について

都内の文化プログラムについては、都のブランドロゴである「CULTURE & TOKYO」と「beyond 2020 マーク」の連携の方法について検討する。

5. 「beyond 2020 プログラム」の運用

「beyond 2020 プログラム」を通じて、我が国の文化の向上に取り組む中で、障害者にとってのバリアや訪日外国人にとっての言語の壁を取り除き（パラリンピック及び国際化への対応）、すべての人が参画できる社会に向け、企業等の行動に変革を促す仕掛けとする。

NO LIMITS SPECIAL

GINZA & TOKYO

パラリンピック競技の魅力を体感できるイベント 「NO LIMITS SPECIAL GINZA & TOKYO」を開催

【開催概要】

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 2 日（月） 13 : 15 ~ 16 : 00
- 2 場 所 銀座中央通り（銀座通り口交差点～銀座二丁目交差点 車道）
- 3 実施内容

【メインコート】 1 オープニングセレモニー

2 車いすテニス デモンストレーション

3 ウィルチェアーラグビー デモンストレーション

イベントのメインステージでは、オープニングセレモニーに引き続き、ロンドンパラリンピック車いすテニス金メダルの国枝慎吾選手、北京パラリンピックダブルス金メダルの齋田悟選手、史上最年少車いすテニスダブルス年間グランドスラム達成の上地結衣選手、リオ2016大会に出場が決定している世界ランキング3位のウィルチェアーラグビー日本代表チームが登場し、競技のデモンストレーションを行いました。



【体験+展示ブース】 パラリンピック競技の体験と、魅力を紹介する展示

＜出展競技＞ 陸上競技、パワーリフティング、ブラインドサッカー、ボッチャ、ウィルチェアーラグビー、車椅子バスケットボール、車いすテニス、ゴールボール

パラリンピック競技の展示・体験エリアでは、8つもの競技のトップアスリートから実際に競技の説明を受けられるということもあり、各ブースともに多くの来場者が訪れ、競技の難しさや奥深さを体感いただき、賑わいをみせていました。

今回のイベントには延べ 22,000 人が訪れ、パラリンピックの魅力を体感しました。



ブラインドサッカー： 94人
 パワーリフティング： 57人
 車椅子バスケットボール： 39人

ボッチャ： 72人
 陸上： 80人
 ウィルチェアラグビー： 13人

累計競技体験者数： 355人

新聞社トークステージ： 345人

クリアファイル配布： 5036セット

【報道状況】

<受付メディア数> 71媒体 220名
 <放送番組数> 19番組 (5/13時点)
 <掲載新聞数> 読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞のほか28紙
 <Web掲載数> 544

《平成28年熊本地震東京都義援金》

体験エリアに募金箱を設置し、義援金を募集しました。

集まった¥41,647円の義援金は、平成28年熊本地震東京都義援金に振り込みました。

トピックス

「スポーツの力」を活用した街づくり

「三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020～東京2020オリンピック・パラリンピックムーブメント～」開校！

4月13日、三井不動産は「三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020～東京2020オリンピック・パラリンピックムーブメント～」(以下、「本アカデミー」)を開校しました。本アカデミーは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下、「東京2020組織委員会」)の協力や関係者の後援により実施するスポーツ教室です。当日は開校式が執り行われ、東京2020組織委員会理事の室伏広治さんやゲストでオリンピックの朝原宣治さん(陸上)、池田信太郎さん(バドミントン)などからもご挨拶を頂き、開校式に華を添えました。式典の後、第1回となる本アカデミーが開催され、招待された中央区立常磐小学校の児童約50人が一流アスリートの方々に体操とウィルチェアーラグビーを学びました。

ウィルチェアーラグビーアカデミーでは、日本代表の島川慎一さん、池崎大輔さん、今井友明さんや当社社員でウィルチェアーラグビー元日本代表の福井正浩を講師に招き競技紹介やデモンストレーションを行いました。実際にゲストや小学生にも競技用車いすの試乗体験をして頂いたり、ウィルチェアーラグビーの講師同士の激しいぶつかりあいの実演では、その迫りに会場内が驚きの声で湧きました。また体操アカデミーでは、講師の田中理恵さんがマット運動で“美しい”前転、後転などを児童一人ひとりに指導をするなど、子どもたちも一流アスリートたちと交流し、大いに盛り上がった様子でした。



「三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020」は「スポーツの力」を活用した街づくりの一環で、一流アスリートの方々が講師となり、オリンピック・パラリンピック種目の競技紹介や体験会を実施するスポーツ教室です。今後は全国で三井不動産が運営する商業施設や街づくりを進める地域の小中学校でも開催する予定です。スポーツを通じた“つながり”を生み出し、地域のコミュニティを活性化することで経年優化的な街づくりを推進することを狙いとしています。

三井不動産は、東京2020オリンピック・パラリンピックの不動産開発におけるゴールド街づくりパートナーです。

ウェブサイト「ジャパンウォーク」特集：朝日新聞デジタルより抜粋

オリンピック・パラリンピアンと歩こう

ジャパンウォーク in TOKYO

大会概要・応募要項

開催日	2016年5月21日(土) ※雨天決行 事前申し込み締め切り 5月2日(月)
時間	受付時間:9:00~10:30 出発式:9:45 スタート時間:10:00~11:00 ゴール時間:12:00~15:00 ※ロングコースから順次出発。両コースとも、午後3時までにゴールしてください。
スタート/ゴール	がすてなーにガスの科学館(東京都江東区豊洲6-1-1)
人数	先着1500人(両コース合わせて)
参加費	事前申し込み 1000円(申し込み締め切り5月2日) ※当日空きがある場合は申し込みを受け付けます。当日参加費は1500円です。
表彰	ゴールされたウォーカーにはゴール証を贈呈します。 ※この大会は順位や記録を競う大会ではありません。
参加記念品	大会記念Tシャツとコース地図を受付時にお渡しします。
主催	ジャパンウォーク実行委員会(セコム、日本航空、日本生命、NTT、野村ホールディングス、みずほフィナンシャルグループ、三井不動産、朝日新聞社)
協力	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
後援	スポーツ庁、東京都、江東区、中央区、江東区教育委員会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
運営協力	一般社団法人日本ウォーキング協会、公益財団法人日本ケアフィット 共育機構
施設協力	がすてなーにガスの科学館、MIFA Football Park
地図作成協力	ゼンリン

ロングコースマップ (約14km)

江東区・豊洲エリアから隅田川テラス、日本橋を通り、皇居前から銀座を抜けて豊洲に戻る、都心を歩くコースです。



- ゴール受付時間**
各コース共に、正午から午後3時までにゴールしてください。
- 注意事項**
- 交通ルールを守り、誘導スタッフの指示に従って歩きましょう。
 - 横一列に広がって歩くなど、一般歩行者、自転車、自動車等の通行に迷惑とならないように注意して歩きましょう。
 - こまめに水分補給をしましょう。
 - コースマップをよく見て、分からない時は誘導スタッフにお声掛けください。

(無断複製を禁ず) ©ZENRIN CO., LTD. 2016 (Z16LL第073号) この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万1/1地方図、2万5千1/1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平26情使、第244-658号)